

**第35回日本中東学会年次大会**  
**【事前参加登録要綱・暫定プログラム】**

日本中東学会会員の皆様、

第35回年次大会実行委員会事務局です。ようやく、参加費払い込みの準備も整いましたので、以下の通りお知らせするとともに、ご協力のほどをお願い申し上げます。

**1. 日時・会場**

日時：2019年5月11日（土）、12日（日）

会場：1日目 秋田市にぎわい交流館 AU 多目的ホール 〒010-0001 秋田市中通一丁目4-1  
(JR秋田駅西口から徒歩7分)

2日目 秋田大学手形キャンパス 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1  
(JR秋田駅から約1.3km (徒歩20分、車6分))

※秋田市へのアクセスは秋田新幹線か、空路が便利です。最寄り空港は秋田空港（JAL、ANA）で、秋田空港から秋田駅まではリムジンバスで約35分です。

**2. 事前参加登録要綱**

同封の払込取扱票から郵便局にて「大会参加費（1,000円）」をお振り込み下さい。参加費のお振り込みをもって事前参加登録とさせていただきます。

1日目の懇親会費（6,000円、学生会員4,000円）と2日目の弁当代（1,000円）も同じ払込取扱票でお支払いいただけます。通信欄の口にお支払いになる費目をチェックし、合計金額をご記入下さい。また、払込取扱票の「ご依頼人」の欄は必ずご本人のお名前を記入して下さい。所属機関の名称、などのお振り込みはご遠慮下さい。

なお、2日目の弁当代ですが、秋田大学手形キャンパス周辺は日曜日に営業している飲食店も少なく、コンビニエンスストアも徒歩10分圏内には2店舗しかありません。この点をご留意いただきまして、事前注文の判断をしていただければ幸いです。

大会参加の事前登録と参加費等の事前お振り込みの期限は、2019年3月15日（金）とさせていただきます。例年通り、当日の参加登録も受け付けますが、その場合は大会参加費2,000円、懇親会費7,000円（学生会員5,000円）とさせていただきます。弁当代の当日申込はお受け致しません。なお、お振り込みいただいた大会参加費、懇親会費、弁当代の払い戻しに応じかねますこと、予めご了解下さい。

\*個人研究発表者と企画セッションでの発表をご予定の方々へ

2日目の個人研究発表と企画セッションでの発表を予定されている方は、発表タイトルと要旨提出を3月1日（金）、大会参加費振込みを3月15日（金）までにお願ひします。事前登録がない方には、個人研究発表と企画セッションでの発表をお断りすることがありますので、ご注意下さい。

海外在住などの理由で、期日までのお振り込みが難しい方は、大会実行委員会事務局までご相談下さい。

\*\*非会員の方のご参加について

1日目の公開講演会は、非会員の方でも無料・事前登録無しでご参加いただけます。2日目の企画セッションと個人研究発表をご聴講いただくためには、会員同様に大会参加費をお支払いいただきます。金額は、会員同様、事前登録の場合には1,000円、当日登録の場合には2,000円です。事前登録のための振り込み期限も会員と同様です。

ご関心のある非会員の学生・院生や一般の方々をお誘い下されば幸いです。

振込先は以下の通りです。

ゆうちょ銀行振替口座

口座記号番号：02210-2-143316

加入者名：日本中東学会第35回年次大会実行委員会 (ニホチユウカク カウカイ イブンギョウカクイシ)

### 3. 暫定プログラム (2月18日現在)

【1日目：2019年5月11日(土)・秋田市にぎわい交流館AU 多目的ホール】

13:00～16:45 公開講演会「中東地域における多元的資源観の醸成を目指して」

#### 【趣 旨】

この半世紀にわたる日本・中東関係構築の軸は、「産業発展のための原料としての資源(とりわけエネルギー資源)の確保」という課題であった。そのような中、エネルギー産業と理学・工学・社会科学のように産業界と学术界は密に協力してきた。しかしながら学术界全体においては、各分野での堅実な進歩とは裏腹に、人文社会科学と自然科学の間には必ずしも緊密な研究交流があったわけではなく、いわゆる文理融合的な学際研究は他地域(例えば東アジア、東南アジア、アフリカ)に比べてあまり深化してこなかったと言える。

一方、近年、資源確保を軸とした日本・中東関係は新たな局面に移行しており、レアメタルを含む金属鉱床の共同調査、太陽光発電や原子力発電の共同事業といった石油・天然ガスの代替えとなるエネルギー分野に加え、地球環境問題や社会問題等のグローバルイシューにも積極的また多面的に関与する必要が生じている。

そこで本シンポジウムでは、中東における持続的な資源開発と良好な関係の継続と発展のためには、理学・工学分野と人文・社会科学分野、さらにはグローバルなレベル(実業界や国際機関)とローカルなレベル(地域住民)を架橋して、いったいどのような“資源観”を醸成していくべきなのか、議論していきたい。

#### 【プログラム】

13:00～13:10 挨拶 秋田大学大学院国際資源学研究科長／全体司会：宮本律子(秋田大学)

13:10～13:30 「フォーラムとしての現代中東地域研究の可能性」西尾 哲夫(国立民族学博物館)

13:30～14:00 「文理融合／異分野連携の中東地域研究：人文学がつなぐ研究と実践の事例より」  
縄田 浩志(秋田大学)

14:00～14:20 「中東地域の技術者との業務、研究を通じた交流」藤井 光(秋田大学)

14:20～14:30 休憩

14:30～14:50 「アブダビにおける石油開発と地球温暖化ガス削減」千代延 俊(秋田大学)

14:50～15:10 「中東地域の鉱物資源」渡辺 寧(秋田大学)

15:10～15:30 「中東の資源をめぐる日本の外交と中東研究」保坂 修司(日本エネルギー経済研究所)

15:30～15:40 休憩

15:40～16:45 質疑応答・総合討論「中東地域における多元的資源観の醸成を目指して」

座 長：稲垣 文昭(秋田大学)

登壇者：講演者6名、安達 毅(秋田大学)

コメンテーター：片倉 邦雄(元駐UAE・駐イラク・駐エジプト大使)

17:00～18:00 日本中東学会総会

18:10～18:50 (予定)秋田大学竿燈会 竿燈妙技披露(秋田市にぎわい交流館AU にぎわい広場)

19:00～21:00 懇親会(秋田キャッスルホテル(秋田市にぎわい交流館AUより徒歩1分))

**【2日目：2019年5月12日（日）・秋田大学手形キャンパス】**

12:40～14:10 企画セッション

9:00～11:40／14:20～15:40 個人研究発表

12:00～13:00 「秋田大学大学院国際資源学研究所附属 鉱業博物館」展示案内

※氏名の右側の（ ）は所属、Jは大学院生。

**◆企画セッション**

企画セッション1 (12:40～14:10)「中東の都市と農村における公共空間の変容」

司会：未定

深見 奈緒子（日本学術振興会）・吉村 武典（大東文化大学）・宍戸 克実（鹿児島県立短期大学）「街路と伝統的公共施設に見る公的空間の歴史的変容：エジプト、カイロ旧市街の事例から」

岡戸 真幸（人間文化研究機構）「庶民的喫茶店から通りへと広がる空間の展開と公共性の検討：エジプト、アレクサンドリアの出稼ぎ労働者の事例から」

北澤 義之（京都産業大学）・岩崎 えり奈（上智大学）「ヨルダンにおける公共空間としてのディーワーン：ヨルダン北部の事例から」

コメンテーター：私市 正年（順天堂大学）

企画セッション2 (12:40～14:10)「大塚モスクによる難民支援：在日ムスリムによる国際協力の一例として」

司会・趣旨説明：子島 進（東洋大学）

岡井 宏文（早稲田大学）「在日イスラーム団体の社会活動とネットワーク：日本イスラーム文化センターを事例として」

佐藤 麻理絵（日本学術振興会）「大塚モスクによる難民支援：在日ムスリムによる国際協力の一例として」

コメンテーター：日下部 尚徳（東京外国語大学）

企画セッション3 (12:40～14:10)「アラビア語のダイグロシアの現在」

司会：近藤 久美子（大阪大学）

榮谷 温子（慶應義塾大学）「ダイグロシアとは？（仮）」

榮谷 温子（慶應義塾大学）「アラビア語エジプト方言版のウィキペディアに見るダイグロシア（仮）」

モハンマド・ファトヒー（東京都市大学）「アラビア語圏における言語状況：エジプトに見られるダイグロシアの現況」

岡崎 英樹（四天王寺大学）「書き言葉の選択からみたモロッコの言語生活（仮）」

近藤 久美子（大阪大学）「アラビア語学習者にとってのダイグロシア：地域性や記述性の事例から」

企画セッション4 (12:40～14:10)「多角的アプローチを通じて解明するシリア紛争の影響：人々の意識変化に関する量的研究、質的研究」

司会：高岡 豊（中東調査会）

浜中 新吾（龍谷大学）「シリア政府支配下住民と国内避難民の国際関係認識：政治的認知地図によるアプローチ」

錦田 愛子（東京外国語大学）「帰還をめぐる思い：シリア難民の移動に対する意識の比較分析」

青山 弘之（東京外国語大学）「黙殺されてきたシリア内戦最大の被害者たちは何を欲しているか：IDPs世論調査結果の地域研究的解読」

企画セッション5 (12:40～14:10)「ムスリム社会における弱者の権利：子ども・病者・貧困者」

司会：未定

小野 仁美 (神奈川大学) 「『子の利益』 とは何か：チュニジアにおける離婚後の子の監護権をめぐる  
て」

森田 豊子 (鹿児島大学) 「現代イランにおける子どもの人権とイスラーム：『子どもと若者の保護』法  
案をめぐる議論」

細谷 幸子 (国際医療福祉大学) 「イランにおける患者の権利をめぐる議論」

村上 薫 (アジア経済研究所) 「貧者の権利とは何か：トルコの公的扶助の実践に見る権利概念の複数  
性」

コメンテーター：堀井 聡江 (桜美林大学)

#### 企画セッション 6 (12:40～14:10) 「メディアとイスラーム思想／知の連環」

司会：未定

黒田 彩加 (日本学術振興会) 「現代世界におけるイスラーム法改革・大衆・イジュティハード：『現代  
のムスリム』誌に集った知識人たち (仮)」

相島 葉月 (国立民族学博物館) 「エジプト人中流層のメディア消費と教養としてのスーフイズムの形  
成 (仮)」

千葉 悠志 (公立小松大学) 「テレビと発達とイスラームをめぐる言説の産出構造の変容に関する考察  
(仮)」

#### 企画セッション 7 (12:40～14:10) 「サウディ・アラビア、ワーディ・ファーティマにおける半世紀後 の再調査：片倉もとこ調査資料の活用とその展開」

司会：片倉 邦雄 (片倉もとこ記念沙漠文化財団)

石山 俊 (国立民族学博物館) 「ワーディ・ファーティマにおける土地利用・農業の変容」

遠藤 仁 (人間文化研究機構／秋田大学) 「ワーディ・ファーティマにおける物質文化の記録保存」

郡司 みさお (片倉もとこ記念沙漠文化財団) 「伝統衣装・服飾および装飾品の変化」

藤本 悠子 (片倉もとこ記念沙漠文化財団) 「半世紀前の被写体女性の氏名・親族関係の同定：片倉も  
とこワーディ・ファーティマにおける調査の継続から」

#### 企画セッション 8 (12:40～14:10) 「変容するエネルギー資源国のガバナンスの現状と課題：イラン、 UAE, 中央アジアの比較分析」

安達 毅 (秋田大学) 「秋田大学国際資源学部における資源学について (仮)」

稲垣 文昭 (秋田大学) 「中央アジアにおけるエネルギー資源を巡る対立と和解：タジキスタンとウズ  
ベキスタンの二カ国関係を事例に」

坂梨 祥 (日本エネルギー経済研究所) 「イランの『イスラーム新思考』の現在」

堀抜 功二 (日本エネルギー経済研究所) 「アラブ首長国連邦における国民形成の系譜：『アラブの春』  
後の政治現象に注目して (仮)」

コメンテーター：清水学 ((有) ユーラシア・コンサルタント)

### ◆個人研究発表

#### 第1 部会／Session 1

9:00～9:40 小野 亮介 (早稲田大学) 「批判対象としてのゼキ・ヴェリディ・トガン (仮)」

9:40～10:20 私市 正年 (順天堂大学) 「*Al-Ruh* 紙とアルジェリア・ナショナリズム運動の再考 (仮)」

10:20～11:00 鈴木 均 (日本貿易振興機構アジア経済研究所) 「デ・モダナイゼーション再考」

11:00～11:40 竹村 和朗 (日本学術振興会) 「所有権の再構築：現代エジプトの『国有地奪還キャン  
ペーン』を検証する」

14:20～15:00 高尾 賢一郎 (日本学術振興会) 「サウジアラビアにおける『公式』イスラーム言説の

展開 (仮)

15:00～15:40 石神 美代子 (九州大学 J) 「クウェートにおける起業支援：2001 年デモ後の中小企業 (仮)」

## 第 2 部会 / Session 2

9:00～9:40 池端 蒔子 (京都大学 J) 「宗教間対話の新しい国際戦略：イスラーム諸国の場合 (仮)」

9:40～10:20 桐原 翠 (京都大学 J) 「ハラール認証制度とイスラーム法の越境性：グローバル化とローカル化の間で (仮)」

10:20～11:00 野中 葉 (慶應義塾大学) 「現代インドネシア社会におけるニカブ着用 (仮)」

11:00～11:40 足立 真理 (京都大学 J) 「イスラーム思想における福祉的概念の探求：貧困の定義とマカーシド・シャリーア論の展開に着目して」

14:20～15:00 野中 恵子 (一橋大学 J) 「第一次世界大戦とトルコ戦後危機の中での日英土関係：平明丸事件 (1921) の再検討から」

15:00～15:40 清水 学 ((有) ユーラシア・コンサルタント) 「シオニズムと『満州国』の生産力論的比較：平田篤胤・佐藤信淵の視点から (仮)」

## 第 3 部会 / Session 3

9:00～9:40 Haidar Reda Mohamad (Chiba University J) “The Revival of Tribalism During the Sectarian Conflicts in the Post Saddam Era”

9:40～10:20 Mostafa KHALILI (Doshisha University J) “The Merging Process of Tribal Identity into the Ethnic Identity: The Case Study of Qarapapaq Tribe in Sulduz Plain at the North West of Iran”

10:20～11:00 Qolamreza Nassr (Hiroshima University) “Obstacles of Political Party Growth and Delay of Factional Coalition in Post-Revolution Iran”

11:00～11:40 Scott MORRISON (Oxford Brookes University) “Takaful (insurance): Islamic legal arguments and modern structures”

14:20～15:00 二ツ山 達朗 (平安女学院大学) 「ムスリム空間の経年変化：チュニジア南部の 7 年間に着目して (仮)」

15:00～15:40 小島 宏 (早稲田大学) 「ベルギーのムスリムにおける宗教実践行動の関連要因」

## 第 4 部会 / Session 4

9:00～9:40 吉村 貴之 (早稲田大学) 「レバノン内戦とアルメニア人社会の変容」

9:40～10:20 岡部 友樹 (京都大学 J) 「レバノン内戦とシリア内戦：比較は可能か」

10:20～11:00 山尾 大 (九州大学) 「宗派の政治的動員とその変容：量的テキスト分析によるイラク主要紙の解析」

11:00～11:40 小山 友 (千葉大学 J) 「イスラム国政政党 DENK の「新トルコ」による他のイスラム系宗教・政治運動への影響 (仮)」

14:20～15:00 望月 葵 (京都大学 J) 「隣接する『異邦』に暮らすシリア難民：ヨルダンにおける『生存基盤』と『帰属』をめぐる考察」

15:00～15:40 上野 祥 (東京大学 J) 「ムバーラク政権下のエジプトにおける政治的抑圧：人権団体の報告書を中心に (仮)」

## 第 5 部会 / Session 5

9:40～10:20 谷 憲一 (一橋大学 J) 「ポスト・サダム期のシーア派アルバイーン巡礼の発展と現代イランにおけるその意義」

10:20～11:00 西川 優花 (大阪大学 J) 「イラン・ザーヤンデルード流域における長期的水不足に対

- する下流域住民の実践的・言説的抵抗（仮）」
- 11:00～11:40 保井 啓志（東京大学 J）「イスラエルの動物の権利に関する運動・ヴィーガニズム」
- 14:20～15:00 鷺見 朗子（京都ノートルダム女子大学）・鷺見 克典（名古屋工業大学）「『アラビア語集中講座合宿』受講者におけるアラビア語学習の契機およびアラブ文化への興味と学習結果との関係（仮）」
- 15:00～15:40 ワリード イブラヒム（カイロ大学）「普遍的価値を広める翻訳方略の確立に向けて：宗教的表現の翻訳を考える」

#### 第6部会／Session 6

- 9:00～9:40 村上 武則（京都大学 J）「変わりゆくクルド語出版：現代から過去へ」
- 9:40～10:20 岡崎 弘樹（日本学術振興会）「現代シリア文学における『パレスチナ』」
- 10:20～11:00 ハディ ハーニ（慶應義塾大学 J）「初期パレスチナ解放闘争における『民族自決』の価値（仮）」
- 11:00～11:40 早川 英明（東京大学 J）「宗派主義をめぐるレバノン共産党系知識人の議論」

#### 第7部会／Session 7

- 9:00～9:40 早矢仕 悠太（東京大学 J）「アブー・ユースフの『ハラージュの書』にみる、8世紀の死地蘇生というハナフィー派学説の対立について」
- 9:40～10:20 大淵 久志（東京大学 J）「ファフルッディーン・ラーズィーの政治神学（仮）」
- 10:20～11:00 相樂 悠太（東京大学 J）「イブン・アラビー思想における「理性」（‘aql）の概念：「理性の限界の向こう」との関係に注目して」
- 11:00～11:40 澤井 真（京都大学）「イブン・アラビー学派における完全人間論の展開（仮）」
- 14:20～15:00 近藤 洋平（東京大学）「初期イバード派イスラーム法における先物売買の整備（仮）」
- 15:00～15:40 近藤 信彰（東京外国語大学）「ガージャール朝『王室財産・ワクフ財台帳』の再検討」

#### 第8部会／Session 8

- 9:00～9:40 大河原 知樹（東北大学）「『カーディー裁判』再考：オスマン時代シリアの事例から（仮）」
- 9:40～10:20 秋葉 淳（東京大学）「オスマン帝国における捕虜の手記（16-18世紀）」
- 10:20～11:00 鈴木 真吾（慶應義塾大学 J）「近代オスマン帝国都市における疫病防遏策の変容-イズミルの事例から（仮）」
- 11:00～11:40 松尾 有里子（お茶の水女子大学）「トルコ近代における女子教師養成校-公教育制度の発展と女性教師」
- 14:20～15:00 篠田 知暁（東京大学）「15世紀後半モロッコ地域北部境域における現地統治者の役割：特に異教徒との『外交』について」
- 15:00～15:40 押尾 高志（千葉大学 J）「16世紀スペインのモリスコによるイスラーム知識の『スペイン語化』：アルハミーア写本を例に（仮）」

日本中東学会第35回年次大会実行委員会

〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1-1

秋田大学大学院国際資源学研究所 縄田浩志研究室内

Tel: 018-889-3256（縄田研究室直通）/ 018-889-3297（遠藤研究室直通）

E-mail: james2019akita@gmail.com

可能な限りメールでのご連絡、お問い合わせをお願い申し上げます。